

自分が6年生の担任のときの学級開きについて指導案形式（もはや変態ですね）で書いてみました。皆さんは、いつもどのように仕組んでいますか。もう自分なりの決まったやり方がありますか。

僕は、学級開きの準備をしだすと、通信やら板書やらで、あれもこれもとなって時間がかかってしまう癖があります。**担任時代の最後の方は、この方法で固定**していました。

たかが1コマ。されど1コマ。ぜひ、1人でも**児童の心が動く**学級開きを目指してみてください。

1. 本時のねらい

学級開きにおいて担任の第一声を聞いたり、学級の仲間と楽しくクイズを解いたりする活動を通して、この担任・仲間となら1年間自分を成長させられそうだと感じ、翌日からの意欲を高めることができる。

2. 本時の展開案

過程	学習活動	留意点（ 白抜き はキーワード）
事前	・前担任から受け取ったキャリアパスポート等に目を通し、児童各々が、どんな考えや思いをもって昨年度を過ごしたのかを把握しておく。	
導入 アイスブレイク	1. 担任の自己紹介クイズ（3～4択）を解く ①先生の名前はどれでしょう。 A) * * * * B) * * * * C) * * * * ②先生の身長はどれでしょう。 A) 175 cm B) 180m C) 1.8m ・・・ ⑩先生の10年後の希望はどれでしょう。 A) 夢のマイホームを建てる。 B) 結婚♪ C) 立派な大人になった君たちとの再会。など	・朝から、ここまでの姿を認める。意欲的な姿、最高学年としての姿等。 ・事前に Chromebook のスライド（プリント、画用紙等も可）で、面白く、ときに真面目な 自己紹介 クイズを作成しておく。 ①面白系 ②学習系 ⑩真面目系
展開 担任第一声	2. 学級通信で担任の願いを知る ・最高学年として誇れる自分（たち）に。 ・誰もが安心して生活できるクラス。 ・「仲間」とは。 ・こんなとき感動、こんなときツノ ・第1回最高学年実力テスト など ・「チャンスの神様」について知る *たとえ話である。 *黒板に絵を描きながら面白く話す。 *子どもの生活に置き換えて具体的な場面。 チャンスはそこら中に転がっている。 今この時も駆け抜けようとしている。	・クイズと人格が変わったように思いを乗せて 熱く「語る」 。 ・「誇り」等、経営のキーワードになる言葉を、「 特技 はね…」として毛筆で書く。（R*年度は「誇り」「挑戦」「仲間」後に背面掲示に使用。 ・チャンスの神様がどういうものかは、PDF 参照。 ・クールダウン/ 笑い
終末 翌日への意欲	3. 教科書を手元に、学習への意欲をもつ ・時間に余裕があれば、「教科書の正しい開き方」を実践する。 ・記名する 4. 宿題を知る ・今年頑張りたいこと。（個人的な側面） ・クラスとして、どんなことを大切にしたいか（集団的な側面）	・教科書配布は、必ず伝えたい話が終わった後。 ・厚い国語の教科書で「正しい開き方」を実践する。 ・ 興味 を引きそうなページを意図的に見せる。 ・背面の個人フォルダに入れるシート ・「明日も元気においで」とあいさつ。